

事務事業名	電子図書館システム運用事業	事務事業No.	20203001071	所属課	生涯学習課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
令和2年度「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」事業として整備を行った。電子図書館開始にあたっては、市職員に愛称の募集を行い、「さくらがわ電子図書館～SaGaCitE～」を愛称として決定した。同年度に整備された献画スクールによる児童生徒へのタブレット配布と連携し、市内の小中義務教育学校児童生徒にID・パスワードを配布した。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
議会（常任委員会）などでは、新たな取り組みとして期待する声が出ている。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 市民の学習環境の充実、既存図書施設のサービスの補完となることから、市の政策に結びついている。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 図書サービスは、公共図書館など行政が整備するのが一般的であり、市民の学習環境の向上に資することから妥当である。
	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 商用・独自コンテンツとともに今後も充実していくことが見込まれることから、向上の余地はある。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 図書サービスの低下につながるほか、コロナウイルスのような感染症対策による自粛期間であっても利用できるものとして、市民の学習機会の確保やストレス緩和、家庭や学校での学習環境の向上が見込まれることから、影響が大きい。
有効性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 感染症の流行時に在宅でも利用できる非接触型図書サービスとして、他に代わる手段はない。
	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？） <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない スタートしたばかりのサービスであり、定着させていくためにも常に新鮮なコンテンツ導入は必要である。一定以上のコンテンツを確保し、利用が市民に定着すれば、新規コンテンツ数を絞ることによる削減余地が生まれる。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市民や在勤・在学者であれば利用申請ができるサービスであり、各個人の端末で特別な費用負担がなく利用できることから公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	運用を開始した令和3年2月頃と比較し、利用登録の申請数は月に10件未満と伸び悩んでいるが貸出数は約60,000冊と前年度の実績を上回った。新規コンテンツを定期的に導入することにより、既存の利用者に新たなサービスを提供することが利用の定着に結びついていると推察できる。																						
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持		（複数回答可） <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策 今後も定期的にコンテンツを導入していくことで、現在の利用者へ新たなサービスを提供しつつ新規登録者の拡充を図る。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持			×																				
	低下		×	×																				
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 ①																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A：継続（現状維持） B：継続（改革改善を行う） C：終了、廃止、休止 D：2次評価へ提出	確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認